

編集後記

最近、新聞・テレビ等で多方面の危機が報じられている。経済危機、政治危機、教育危機、医療危機、報道モラルの危機、性倫理の危機などである。この危機の源流は戦後の教育にある。GHQにより日本の教育理念が厳しく問われ、従来の教育勅語に変わり教育基本法が定められた。教育基本法の制定には学識経験者によって激論の末まとめられたと聞く、激論の中心は、“個人”と“全体”の整合性であったらしい。基本法の前文に“個人の尊厳を重んじ、真理と平和を希求する人間の育成を期するとともに、普遍的にして個性豊かな文化の創造をめざす教育”とある。戦前は滅私奉公すなわち個人を捨て全体（国家）に奉仕せよと教えられてきた。戦後は個人に力点が置かれるがあまり、全体に貢献するために個人を磨く理想が忘れられた。最近ではさらに、怠惰な個人主義が利己主義に姿を変えている。

医学部教育でも多くの問題が指摘されている。医師として独創的で個性豊かな人材を求めるあまり普遍的な価値観の創造が薄れている。多様な人材が生かされるためには普遍的な理念に基づく母体が必要である。産科婦人科学会にはそれを束ねる普遍的な価値観として“産婦人科学における真理の探求によって、人類の福祉に貢献する”がある。この基本理念を実現するために、学会誌として、ニュース性と科学性を重んじた編集でありたいと願っている。

平成11年10月1日

井上 正樹

編集担当常務理事

西島 正博

編集担当理事

井上 正樹, 佐藤 章, 関谷 宗英, 高山 雅臣
武谷 雄二, 森川 肇, 水谷 栄彦

編集担当幹事

泉 章夫, 苛原 稔, 木村 英三, 小林 浩
澤 倫太郎, 平川 俊夫, 吉田 幸洋, 吉原 一

「日本産科婦人科学会雑誌」 第51巻 第10号（毎月1日発行）本号定価 ¥2,000（消費税は含まず）

平成11年9月25日印刷・平成11年10月1日発行

〒162-0842 東京都新宿区市ケ谷砂土原町1丁目1番地 保健会館別館内

発行所 社団法人 日本産科婦人科学会

電話 (03) 3260-2296番 振替口座 00130-2-5568番

<http://www.jsog.or.jp/>

編集兼発行人 社団法人 日本産科婦人科学会

印刷者 渡邊 一正

印刷所 〒114-0024 東京都北区西ヶ原3丁目46番10号 株式会社 杏林舎

【本誌掲載記事の転載・複製の際は本学会編集会議へお諮り下さい】

1999年10月

N-393~440

日本産科婦人科学会認定医制度
研修コーナー

51巻

10号 '99

日本産科婦人科学会雑誌

CONTENTS

● 今月の研修テーマ〔婦人科腫瘍診断に必要な検査〕

- 腫瘍マーカー(395)
北海道大学医学部産婦人科助教授 櫻木 範明
北海道大学大学院 藤堂 幸治
北海道大学医学部産婦人科教授 藤本征一郎
- コルポスコピー(399)
近畿大学医学部産婦人科講師 山本嘉一郎
- カラードプラ, パルスドプラ(403)
島根医科大学医学部産科婦人科講師 秦 幸吉
- 癌遺伝子, 癌抑制遺伝子(407)
新潟大学医学部産科婦人科助教授 高桑 好一
同・教授 田中 憲一
- 各種専門委員会コーナー
 糖尿病・妊娠糖尿病の分類, 定義および
 診断基準について(411)
三重大学医学部産婦人科教授 豊田 長康
- EXERCISE 152~155(415)
- 日本産科婦人科学会認定医試験出題問題と
 そのポイント(419)
- 書評(439)

11月の研修テーマ (予告)

〔婦人科癌と最近のトピックス〕

- テロメラーゼと癌
 杏雲堂病院副院長 杉下 匡
- 腫瘍と血管新生
 浜松医科大学産婦人科講師 小林 浩
- 婦人科癌の遺伝子治療
 九州大学生体防御医学研究所助手 西田 純一
 同・教授 和氣 徳夫
- 癌転移と接着分子
 東京慈恵会医科大学産婦人科講師 佐々木 寛